

氷蓄熱は、すばらしい熱源である

植山 哲平 (うえやま てっぺい) 氷蓄熱技研 代表

1. 氷蓄熱の現状と色々な意見

氷蓄熱が、着々と順調に伸びている。しかも、しっかりと定着し、色々なところで、色々な用途に使われて活躍している。

このように述べると、???と思われる方々がおられる事と思う。

そこで、まず、氷蓄熱の現状を以下に、列挙してみよう。

- ① (図1) は、大阪駅周辺の氷蓄熱の設置状況である。大阪駅の周辺を見ても、氷蓄熱がびっくりする程設置されている(図1)。これは、セントラル型のみであり、個別分散型を入れると、さらにびっしり詰まることになる。さらに、これからも次々と、数万RThの氷蓄熱の計画が、複数の物件にて進められている。主要な駅の周辺は、大阪駅と同様であろうと思われるので、是非紹介していただきたい。
- ② 業務用ビルや大型ショッピングセンターでは、氷蓄熱は、標準熱源として使われている。
- ③ 氷蓄熱を使われた方々が異口同音に曰く、「氷蓄熱は、性能、特性が抜群であることから、氷蓄熱を使うと、システム性能の向上が図れるし、実際に使ってみると使い勝手も良いし、通常熱源として簡単に使える」と。
- ④ 食品加工分野では、必要不可欠な熱源として使われており、蓄熱調整契約の制度ができるはるか以前から使われている。
- ⑤ 氷蓄熱は、世界中で使われている。アメリカからスタートし、まさか氷蓄熱が使われるとは思っていなかった北海道以北にあるヨーロッパでも、ビックリするほど使われているし、東南アジアに至るまで広がり、特に、中国では、爆発的に氷蓄熱が使われている。
- ⑥ 「補助金が無くなって、氷蓄熱は今からどうなる？」との質問に対して、業界のあるプロの方が曰く、「補助金で後押しされている間は本物ではない。

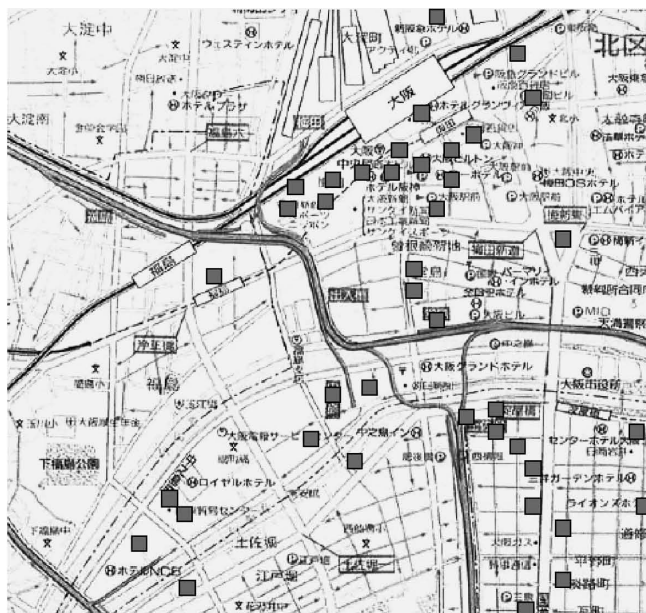


図1 大阪駅周辺の氷蓄熱の設置状況

補助金の無くなった今は、正常な状況になった。さらに、五十数社あったメーカーや方式が自然淘汰されてきた。本当の実力のある氷蓄熱が今後とも実力を発揮していくだろう。間違った判断をしないように、世界に目を向けておこう」と。

- ⑦ ある識者が曰く、「今からのエネルギー不足は目に見えており、エネルギーコストも高くなる。

さらに、地球温暖化防止に真剣に対処していかなければならない状況を併せて考えれば、もう一度原子力発電に頼らなければならない時がくる。その時に、氷蓄熱は、ますます、必要不可欠になる。エネルギーの将来を常に見ておこう」と。

*つい先日(2006年8月)日本の首相はカザフスタンを訪問した。カザフスタンは石油産出国であると共に、ウラン埋蔵量は世界第二である。将来のエネルギー戦略を踏まえて、ウランの争奪戦が始まった。

- ⑧ ある質問、「昼間と夜間の電力料金の差が少なくなって、償却年数が長くなっているのに、氷蓄熱が順調に伸びているのは、何故?